

毎月 11 日は

防災を『考』える日

令和 2 年 6 月号



『『警報級の可能性』を確認しよう！』

■ 早期注意情報（警報級の可能性）

気象庁では警報級の現象が5日先までに予想されているときには、その可能性を「早期注意情報（警報級の可能性）」として [高]、[中] の2段階で発表しています（現在は大雨、大雪、暴風（暴風雪）、波浪の4種類）。

大雨に関して、翌日までの期間に[高]または[中]が予想されている場合は、最新の防災気象情報などに留意するなど、災害への心構えを高めてください。

〔「早期注意情報（警報級の可能性）」（気象庁ホームページ）を加工して作成〕



気象庁HP【現在発表中の宮城県東部の早期注意情報（警報級の可能性）】

https://www.jma.go.jp/jp/warn/f_0420500.html



■ 防災基礎クイズ

Q 降水確率 30%とは、「30%という予報が100回発表されたとき、その内のおよそ30回は1mm以上の降水がある」という意味である。○か×か？

毎月11日は「防災を考える日」です。

震災の教訓や災害への日頃の備えなどについて、家庭や学校、職場、地域などで話し合ってみましょう。

■ 問い合わせ先／気仙沼市総務部危機管理課防災情報係

☎:0226-22-3402 FAX:0226-22-1467 E-mail:kikikanri@kesennuma.miyagi.jp

（いんたにのろをそ書水割）○：そそ